

2020年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	福井県民生活協同組合	代表者	竹生 正人	法人・事業所の特徴	越前市の北部に位置し、併設事業には、デイサービス、認知症対応型デイサービス、訪問介護、居宅介護、地域包括があります。地域との繋がりを大切にすることを重視し、地域支援として、認知症カフェや地域との祭り、家族会なども開催しています。 『あなたらしい生活を取り戻してもらうための支援を行いながら、“普通の暮らし”を取り戻す支援を目指します。地域の方も協力的で区長、老人会、民生委員との連携もとれています。地域の防災訓練、社会奉仕などの参加や近くの高校と、毎年、交流学习も実施しています。
事業所名	県民せいきょう小規模多機能ホーム 丹南きらめきハウス	管理者	佐々木麻美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	0人	人	1人	人	人	3人	人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	運営推進会議等で報告した取組みは、広報誌などを活用し、外部への発信方法を考え伝えていく。	ハウスでの取組みについて、広報誌に記載し、外部への発信を行った。また、昨年より SNS の活用も開始した。 事業所自己評価の改善計画について、取組みがなされていない項目もあった	特になし	引き続き、ご家族や地域の方に事業所の取組みが把握できるように、広報誌に記載して発信していく また、改善計画を意識して取り組めるよう、必要な項目で担当を決めて具体的に取るようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	利用者が個々に、自分のくつろげる好きなスペースで過ごせるように和室を環境整備し、カフェスペースとしての提供を積極的に行う	施設内でのスペース確保の為に、和室は常時使用する事となった。1テーブルに二人の方に座ってもらうので、相性のいい方同士で居られるよう工夫した	・施設見学ツアーを開催すると、理解が得られるのではないだろうか	・感染症予防の為に、密にならない工夫をする。また、利用者の意見を聞きながら、個々にくつろげる場の提供をしていく ・施設見学ツアー開催も検討する。
C. 事業所と地域のかかわり	職員だけでなく、利用者とともに地域のイベント、認知症カフェ、防災訓練などに参加していくことを検討する。	・感染症拡大予防の為に多くの各イベントが中止になり、利用者の参加は難しかった ・独居利用者と地域の方との関係が途絶えない様、支援を続けている。	・運営推進会議で地域の方のお話を伺うと、地域に根差しているなど感じます	感染予防に気を付けながら、可能と思われる地域イベントなどに利用者と共に参加していく。 独居の方と地域の方とのつながりを大事にし、連携して支援を続けていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	行きたいと思っている場所やイベントに、一緒に出かける支援をしていく。事前の企画だけにとらわれず、季節に応じた外出の機会を増やしていく。	利用者に何がしたいかの聴き取りをし、それを目標に実現できるよう関わりを持った。「いきなり外出」とはなるが、その時に行きたいところを聞き取りながら、多くの方を行きたいところにお連れできた。	・コロナ渦で、地域の関わりは難しかったのでは？	引き続き、利用者から行きたい場所やイベントの声が上がったら、企画していない事でも臨機応変に取り入れ対応し、外出の機会を増やしていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議にたくさんの方に来てもらえるよう、開催曜日・時間、内容の検討をする。	感染拡大防止のために、文書配布で書面開催となった回もあった。開催曜日、時間、内容についての検討は出来なかった。	・市は休日や夜間の開催にも協力できます。 ・開催日時を希望を聞くと良い	・感染拡大予防を考えた開催をする。 ・介護の事や事業所の事等、知りたいなとか、行ってみたいなど思ってもらえる様な内容を検討する。 ・開催日時の希望を聞き、出来るだけたくさんの方に参加してもらう
F. 事業所の防災・災害対策	・避難経路、段差などバリアフリーのチェックをする。 ・事業所で作成した災害福祉計画を、全職員で共有し訓練を行い役割も提示する。	建物内のバリアフリーや段差の把握はできた。 災害福祉計画の全員での共有の場は持てなかったが、個々に紙面で確認する形をとった。 訓練では、役割を決めて臨んだが、焦りの為か正確な情報が伝わらず、速やかな避難が出来たとは言えない。	・夜間、一人で対応するのは難しいと思う ・市としては自警隊や消防訓練参加を進めていきたい	・災害福祉計画の全員の理解・把握を確認し、訓練当日も落ち着いてそれぞれに役割が果たせるように備えていく。 ・地域の消防団との連携を図る